

2023年上半期分 成田空港貨物取扱量

— 総取扱量（上半期）、3年ぶりに100万トンを超える —

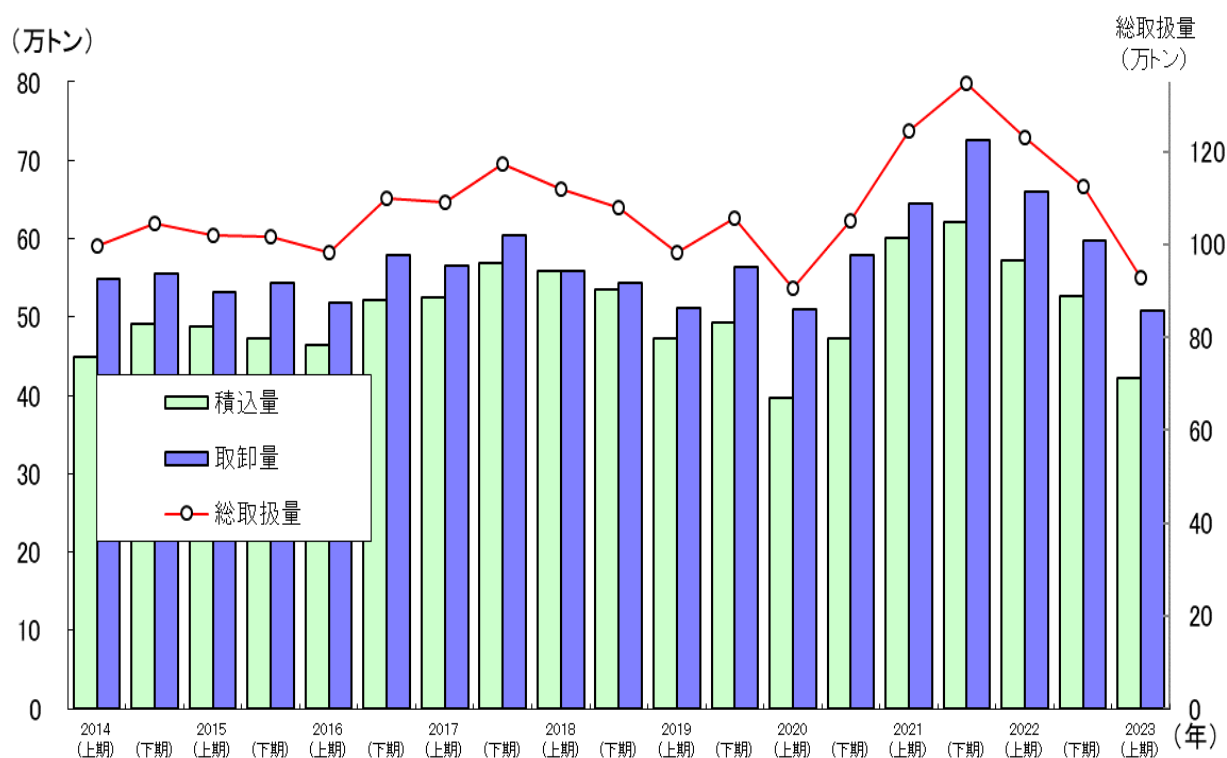
1. 概要

2023年上半期の成田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量	約 92万9千トン	（前年同期比	24.6%減）
積込量	約 42万2千トン	（同	26.3%減）
取卸量	約 50万7千トン	（同	23.1%減）

となり、前年同期比で総取扱量、積込量、取扱量はマイナスとなった（総取扱量、積込量は2年連続）。

取扱貨物量の推移



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（成田航空貨物出張所）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関成田航空貨物出張所通関総括第2部門（TEL0476-32-6116）までお願いします。

2. 通関地域別動向について

(1) 輸出量

成田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

成田地域通関	10万9千トン	(前年同期比	24.4%減	、シェア40.0%)
その他地域通関	16万4千トン	(同	38.3%減	、同60.0%)

となっており、前年同期比で成田地域通関分、その他地域通関分ともにマイナスとなった。

(2) 輸入量

成田空港において輸入された貨物量を通関地域別に見ると、

成田地域通関	28万2千トン	(前年同期比	30.6%減	、シェア83.4%)
その他地域通関	5万6千トン	(同	35.2%減	、同16.6%)

となっており、前年同期比で成田地域通関分、その他地域通関分ともにマイナスとなった。

3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量	14万9千トン	(前年同期比	8.3%減)
取卸量	17万トン	(同	1.4%増)

となっており、前年同期比で積込量はマイナス、取卸量はプラスとなった。

4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向 (他官署通関分を除く)

2023年上半期の成田空港で輸入された貨物(成田地域通関分)を生鮮貨物、ドライ貨物別にみると、

生鮮貨物	3万5千トン	(前年同期比	30.4%減	、シェア12.6%)
ドライ貨物	24万6千トン	(同	30.6%減	、同87.4%)

となった。

成田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

(単位：トン)

		2023年上半期		2022年上半期	
成田空港輸入貨物量		281,520	(69.4%)	405,738	(105.5%)
内 訳	生鮮貨物量	35,422	(69.6%) [12.6%]	50,919	(93.5%) [12.5%]
	ドライ貨物量	246,098	(69.4%) [87.4%]	354,819	(107.4%) [87.5%]

注. ()内は前年同期比、[]内は構成比である。